

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	健康ふれあいセンター管理運営費	担当課	産業観光課
事業内容(簡潔に)	市民の健康増進と余暇の活用による福祉の向上に寄与する		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり
	政策	健康な暮らしを守る保健・医療の充実
	施策	健康づくりの推進
関連する個別計画等	根拠条例等	韮崎市健康ふれあいセンター設置、管理及び使用料条例

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	利用者のふれあいと、交流を促進し、余暇の充実、健康と福祉の増進を図ること。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設定は、1階に45mの流れる温水プール、子供プールなど家族で楽しめるウォーターガーデンと4種類のウエット・ドライサウナ、露天風呂に圧注浴、気泡浴、噴水浴、打たせ湯、寝湯などのアトラクション。2階に、休憩室の72畳の大広間（無料）、12畳の個室4室（有料）がある。 利用時間 午前9時30分～午後9時まで（平日8時～午後9時） 利用料金 市内大人350円/小学生以下240円 市外大人850円/小学生以下450円（平成29年4月より改定） 休館日 毎週月曜日(但、祝祭日の場合はその翌日) 年末年始は12月31日～1月1日 指定管理者 いらさき HSB共同企業体 平成30年4月1日から令和5年3月31日
事業の対象	市民及び市外からの利用者（観光客を含む）、指定管理者

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
A	事業費 (千円)	37,187	41,835	66,053
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	37,187	41,835	66,053
B	担当職員数(職員E) (人)	0.10	0.10	0.10
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	686	671	657
D	総事業費(A+C) (千円)	37,873	42,506	66,710
主な事業費用の説明	<ul style="list-style-type: none"> ■指定管理料:27,688千円(H30～R2) ■施設修繕 H30:深井戸ポンプ入替 6,048千円、深井戸孔内修繕 5,098千円 R1:大広間エアコン更新工事 8,640千円、浴室壁塗装改修 990千円、上水用受水槽更新工事:5,450千円 R2:温泉深井戸ポンプ更新工事 4,070千円、個室等エアコン更新工事 24,420千円 			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 年間営業日数	延べ日数(日)	288	297	251
	2 イベント開催回数	延べ回数(回)	9	12	2
	3 平日の営業時間	平日の営業時間(時間)	13	13	13
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	新型コロナウイルス感染症対策のため74日間休館日を設けたため過去2年度と比較して営業日数が減少した。開設から20年が経過し機器の老朽化が見られるが、定期的な点検と計画的な修繕に努めていく。			
	2	新型コロナウイルス感染症対策のためイベント開催回数を削減したが、新型コロナウイルス感染症の影響がなければ、利用者にも好評とのことなので今後も実施していく予定である。			
	3	朝風呂の需要を見込み、平成30年度から平日の朝の営業時間を1時間30分を早めて営業を行っている。新型コロナウイルス感染症対策の為に令和3年度から営業時間の短縮を行っているが、状況に応じて今後も続けていく予定である。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			30年度	元年度	2年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	年間利用者数	延べ人数 (人)	93,150	96,290	57,910
	2	平均利用者数	年間利用者数÷営業日数 (人)	323	324	230
	3	利用者一人当たりのコスト	事業費÷年間利用者数 (円)	399	434	1,140
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	新型コロナウイルス感染症対策のため、休館日を設けたことと自粛要請により利用者が大幅に減少した。新型コロナウイルス感染症による利用者の減少傾向が、令和3年度に入っても続いていくと思われる。今後は、新型コロナウイルス感染症対策を引き続き行うとともに、営業時間の見直しを検討し利用者の増加に努めていく。休館期間：令和2年4月11日～6月23日までの74日間				
	2	令和2年度については新型コロナウイルス感染症対策のため、休館日を設けたことと自粛要請により利用者が大幅に減少した。営業日数が例年に比べ減少したものの、夏季の営業日の拡大の未実施や利用料金増額による影響により平均利用者数も減少している。今後は、新型コロナウイルス感染症の状況に即しイベントの開催や利用者の目線に立った運営に努め利用者の回復を目指す。				
	3	温泉深井戸ポンプ更新工事等の大規模修繕の実施に加え利用者数の減少により、1人当たりの単価が上昇した。施設の老朽化により修繕費用は今後増加すると思われるが、利用者数の回復に努め一人当たりのコスト低減に努めていく。				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)	
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	令和3年度の改善計画(今後の事業展開説明) 利用者の増加に向けた取組として次のことを重点として指定管理者が行う。 ①新型コロナウイルス感染症対策を行った上でのイベント回数を平均ベースに戻す ②日頃のアンケート内容をふまえ、利用者目線に立ったサービスの提供を行う ③現在4月から時間短縮営業を行っているが、新型コロナウイルス感染症の状況により通常営業時間に戻す ④大規模な修繕につながる前に施設の老朽化状況を把握し、必要となる修繕の用途を立て日ごろから施設の状況等について連携を図る	
過去の改善経過	改善の経過	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と定期的(毎月)に会議を実施し、利用状況や課題等の意見交換を実施している。 前指定管理者(H25～H29)から新指定管理者(H30～R4)に指定する際、選定要領の見直しを行い、外部有識者による選定を行なった。
	直近の評価結果	内部評価 令和元年度 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
		外部評価 令和元年度 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
改善案	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の増加に向けた取組として、次のことを重点として指定管理者が行う ①イベント回数の増加 ②夏季(夏休み期間中)の無休営業 ③利用者目線に立ったサービスの提供 ④各種イベントとの連携(協賛して市外料金の割引等) ⑤施設の老朽状況を把握し、必要となる修繕の用途を立てる。 引き続き、指定管理者と連携し適正な施設運営に努めていく。 	
課長所見	コロナ禍の影響により入館者が減少しているが、入館者数の回復のため指定管理者と協力して各種サービスの充実を図るための検討が必要である。	